かすみがうら

第222号
＜毎月１日発行＞
■ 発行所 ■
霞ヶ浦医療センター
かすみがうら編集局
〒300-8585
土浦市下高津2-7-14
Tel：029-822-5050
Fax：029-824-0494
E-Mail & WebSite
201-kasumi.main@mail.hosp.go.jp
https://kasumigaura.hosp.go.jp/

整形外科の診療について

＜整形外科＞

～西浦　康正～

整形外科は、上肢、下肢、脊椎と幅広い領域の疾患を治療しています。骨、関節、靭帯、腱、筋肉、末梢神経、脊髄などが対象臓器で、外傷（骨折・脱臼、靭帯損傷）、スポーツ障害、変形性関節症・関節炎、リウマチ、痛風、腱鞘炎、末梢神経障害（しびれ・疼痛・麻痺）、脊椎・脊髄疾患（しびれ・疼痛・麻痺）、骨粗しょう症、先天異常、腫瘍、感染症など多岐にわたります。これらの疾患を診断し、保存療法（手術を行わない治療、薬物療法・注射・装具療法など）あるいは手術療法を行い、外傷や障害からの回復、あるいは疼痛・しびれが軽減するように治療しています。

特に当科では、一般的な外傷・疾患に対する治療に加え、専門的な疾患に関しては専門医が専門的な治療を行い、良好な治療成績を上げています。また、難治例に関しては筑波大学附属病院整形外科とも連携しています。

高齢化に伴い増加している骨粗しょう症およびその関連骨折の治療にも積極的に取り組んでいます。薬物療法に加え、生活指導や運動療法の指導も行っています。手術が必要な大腿骨近位骨折などを受傷された患者様に対しましては、早期に手術および術後のリハビリテーションを行うことにより、早期に歩行能力を回復させるように努めています。

常勤医師

●西浦　康正（専門分野：手・肘・末梢神経障害、代表疾患・手術：手・肘の外傷／障害・腱鞘炎・手根管症候群・母指ＣＭ関節症、野球肘など）

●青戸　克哉（専門分野：膝関節・スポーツ障害、代表疾患・手術：膝半月板損傷・靭帯損傷に対する鏡視下手術・変形性膝関節症に対する人工関節手術など）

●牧原　武史（専門分野：肩関節、代表疾患・手術：腱板断裂に対する鏡視下手術・反復性肩関節脱臼に対する鏡視下関節唇形成術・人工肩関節手術など）

●吉沢　知宏（専門分野：股関節、代表疾患・手術：変形性股関節症に対する人工股関節手術など）

●堤　亮介（専門分野：骨折、代表疾患・手術：大腿骨近位骨折に対する手術など）

非常勤医師

●田中　健太（専門分野：足、代表疾患・手術：足の骨関節腱障害・外反母趾など）

●俣木　健太郎（専門分野：脊椎・脊髄、代表疾患・手術：腰部脊柱管狭窄症・頚椎症性脊髄症など）

●三浦　紘世（専門分野：脊椎・脊髄、代表疾患・手術：腰部脊柱管狭窄症・頚椎症性脊髄症など）

産科の診療について

＜産婦人科＞

～永井　優子～

当院の産科は、経験豊富な医師や助産師、看護師が、二四時間妊婦さんの様々なご要望にお応えしながらスタッフ一丸となって大切なお産に取り組んでいます。医療スタッフは常にお母さんに寄り添いながら、妊婦支援やカウンセリング、新生児指導、産褥指導など妊娠期から産後、新生児の事まで継続して丁寧な支援を心がけています。

当院ならではの特徴を述べさせていただきたいと思います。

・妊娠の合併症はどなたにでも起こりうるものですが、当院の特徴として、総合病院であるため、小児科・婦人科はもとより、内科・外科など他科との万全な連携体制で、産前から産後に伴う様々な合併症に対して速やかに対応しています。尚、高次医療機関である土浦協同病院、筑波大学病院と連携しており、必要が生じた際には紹介あるいは搬送させていただく体制を整えておりますのでご安心ください。

・医師が行う妊婦健診の他にも、妊娠中の心配事、出産、育児に関する質問など、ゆっくり時間を取ってのご相談も助産師外来を設けてお受けしています。ぜひ積極的にご活用ください。

・当院は、入院助産制度の指定病院となっています。助産制度とは、経済的な理由により入院して分娩する事ができない方が、児童福祉法に基づき定額の費用で入院助産を受ける事ができる制度です。

「私たちはこの病院に身を寄せてこられたすべての方々に医療を通じて希望と力を与えその期待と信頼に応えます」

という信念に基づき、周辺地域の行政と連携を取り、医療・保健・福祉の連携をスムーズに進める事に力を注いでいます。

最後に現在の産科診療における新型コロナウイルス感染症対策は以下の通りです。

一、健診

待合室での密な状態や接触をなるべく避けるため、来院・診察は原則ご本人のみとなります。ご家族の方が付き添いの際は診察室の外かお車でお待ちください。外国籍の方で通訳が必要な場合や、身体的な理由で補助が必要な場合はその限りではありません。

二、立会分娩

当面の間、中止とさせていただきます。

三、入院中の面会

産科にかかわらず原則禁止となっております。ご家族お一人のみ、分娩直後短時間の面会は可能です。ご家族のお子様との面会は、窓越しになります。

分娩後はお荷物の受け渡しは可能ですが、本人、お子様への面会はできません。入院時、退院時のみ病棟内でお待ちいただけます。

四、両親学級

当面の間中止とさせていただきます。妊婦健診時に個別に対応させていただきます。

＜分娩制限は行っていません。お気軽にご相談下さい。＞

入院予定患者さんへＰＣＲ検査の変更について

＜庶務係長＞

～尾形　優～

院内感染防止を目的として、当院への入院が決定した患者さん全員に対し、入院前に新型コロナウイルスのＰＣＲ検査を実施しています。

検査費用は無料です。

場所が本館一階「外来採血室」に替わりました。

受付時間は、平日午後一時～午後二時三〇分までとなっております。

唾液を採取する三〇分前までに「食事」、「歯磨き」、「喫煙」は済ませ、直前にうがい等も行わないようにお願いいたします。

○**検査結果が陽性（感染あり）**だった場合←**担当の医師が電話連絡致します。**入院は延期となります。

○**検査結果が陰性（感染なし）**だった場合←**電話連絡は致しません。**予定通りの入院となりますので、入院時刻にお越しください。

お手数をお掛けしますが、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

肝炎治療にかかる医療費の負担を軽くする制度について

＜医事係長＞

～矢野　諒介～

肝炎は、感染した状態を放置すると肝硬変、肝がんに進行する場合があります。しかし、治療をする事で病気の進行を防ぐ事ができ、また治療によって完治が期待できるようになりました。

Ｂ型肝炎またはＣ型肝炎による慢性肝炎、肝硬変に対する「抗ウイルス治療」は高額医療となりますが、医療費助成制度を利用する事で、医療費の負担を軽くする事ができます。

【肝炎治療費助成事業】

一、助成対象医療
●Ｂ型・Ｃ型肝炎インターフェロン治療
●Ｃ型肝炎インターフェロンフリー治療
●Ｂ型肝炎核酸アナログ製剤

二、自己負担額について
月額原則一万円又は二万円

三、申請について
お住まいを管轄する保健所へお問い合わせください。

【限度額適用認定証（高額療養費制度）】

高額療養費とは、同じ月にかかった医療費の自己負担額が高額になった場合、一定の金額を超えた分が、後で払い戻される制度です。事前に限度額適用認定証を取得し、病院の窓口で提示する事で、窓口で支払うひと月の金額を自己負担上限額までの医療費に抑える事ができます。

自己負担上限額は、所得に応じて変わります。各種保険担当の窓口へお問い合せください。

●国民健康保険・後期高齢
　住民票がある市区町村の国民健康保険担当窓口
●協会けんぽ
　協会の各都道府県支部窓口
●健康保険組合
　会社などの健康保険担当

何ヶ月か前のNHK特集で

〈小児科〉

～山口　真也～

何ヶ月か前のNHK特集で、グローバル巨大製薬企業の闇についての番組がありましたが、その中でマーティン・シュクリというアメリカ人のファンドマネージャーの事が取り上げられていました。ウィキペディアによると、彼は現在三九歳。その若さで資産五〇億円を持っているそうですが、証券会社を設立して株の空売り等で儲けた後、チューリングという製薬会社を設立しました。この会社は独自の薬を開発するのではなく、特許期限の切れた薬のライセンスを買収してから、その薬の値段をつり上げるというやり方で、巨利をあげていました。その一例として、エイズの合併症であるトキソプラズマ症の治療薬であるピリミタミン（ダラプリム）という昔からある薬の販売権を六〇億円で買収した後に、薬の値段を一錠一三・五ドルから七五〇ドルへと五六倍に引き上げました。アメリカ社会からの非難にさらされたシュクリに対して議会の公聴会が喚問を行って、そのシーンがNHK特集でも写されていましたが、彼は「株主に利益を還元する事の何が悪い。もしまたダラプリムの値段を決める事があるなら、もっと値上げするつもりだ。」と答えて、「アメリカで最も憎まれている男」という名誉？ある称号ももらったそうです。シュクリはその後、証券詐欺で逮捕されましたが、恐ろしい事に、アメリカの政治評論家のロバート・ライシュは、「シュクレリが犯した間違いは、他の多くの人たちがウォール街や社内の重役室でやっているのと同じ事を堂々とやってしまった事だ。」と自分のコラムに書いたそうです。

さて、日本が輸入している新型コロナワクチンを製造する会社もそのようなグローバル製薬企業です。勿論全ての巨大企業がシュクリのようなビジネスをしているとは思いませんが、それでも基本的に、強欲資本主義に毒された世界の巨大製薬企業を無条件に信用する事に私は抵抗があります。

もう一つ例をあげますと、五年前にフィリピンで起こったデング熱ワクチン事件の事があります。今年の二月一〇日に日経メディカルという医学系ニュースに掲載された谷口恭先生の論文によりますと、二〇一六年四月、フィリピンでフランスの製薬企業が開発したデング熱ワクチン（Dengvaxia）の小児への集団接種を開始したところ、デング熱にかかった事がない児童がワクチン接種後にデングに罹患した時に重症化する事例が相次ぎ、結局六〇〇人もの子どもが死亡したそうです。その為フィリピンではデングワクチンは中止されました。なぜこのような事が起こったのかというと、抗体依存性感染増強（Antibody Dependent Enhancement／ADE）という現象がその原因だと推測されています。つまり、ワクチンを接種すると、病原ウイルスに対する抗体が造られます。その抗体が体の細胞にくっついていると、その抗体がウイルスに対するレセプター（受容体）のような働きをしてしまい、ウイルスが細胞内に侵入しやすくなってしまう、という仕組みです。私がコロナワクチンを小児に接種するべきではないと主張するのは、第一に小児はコロナに重症化しない事がはっきりしている事、第二がこのADEの可能性がまだ否定されていないという事によります。一〇年くらい経って、ADEが発生しない確証が得られたら考えてもよいですが、現段階では小児に接種など論外です。もっともワクチンが足りないと日本中で騒いでいますので、当面その心配はしなくてすみそうですが。

休診及び代診のお知らせ

令和３年４月分（令和３年３月３０日時点）

休診日	診療科	休診医師	代診医師	備考
4月1日（木）	整形外科	堤	なし	
4月5日（月）	総合診療科	栗原	なし	
	総合診療科	齋藤	なし	
4月7日（水）	麻酔科術前外来	―	なし	
	乳腺内分泌外科	田地	なし	
	産婦人科	坂中	なし	
4月8日（木）	循環器内科	榎本	なし	
4月9日（金）	形成外科	阿部	なし	予約のみ １０時３０分まで診察
4月12日（月）	脳神経内科	山本	なし	
	形成外科	佐々木	なし	予約済みの方のみ診察
4月15日（木）	泌尿器科	宮崎	なし	予約済みの方のみ診察
4月19日（月）	形成外科	佐々木	なし	予約１０時３０分まで 予約外受付９時３０分まで
4月22日（木）	整形外科	三浦	なし	
	泌尿器科	宮崎	なし	午後休診
4月23日（金）	循環器内科	加藤	なし	
	甲状腺外来	八代	なし	
4月30日（金）	形成外科	阿部	―	予約済みの方のみ診察

最新の情報は当院ホームページをご確認ください

出産お祝い膳

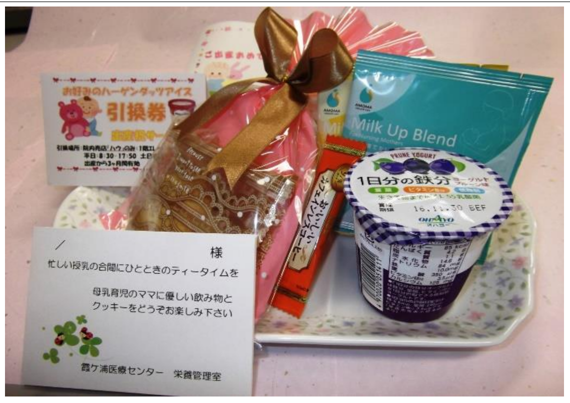
デザートプレート
リニューアルしました

〈栄養管理室長〉

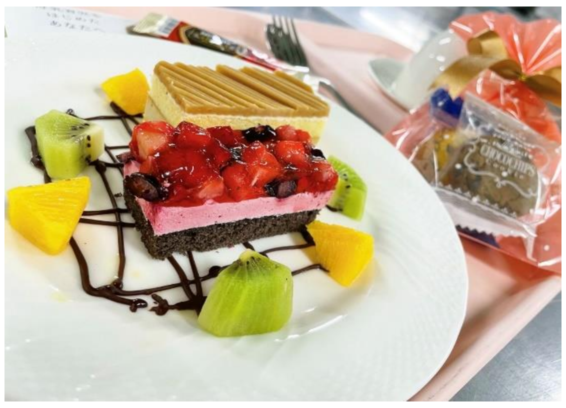
～石井　民子～

令和三年二月より、出産のお祝い膳として、提供しているデザートプレートを新しくしました。二種のケーキを盛り合わせて、フルーツやチョコレートソースでデコレーションし、より華やかになりました。ケーキは、栄養管理室職員で試食・検討した結果、コクあるマロンクリームのモンブランと見た目も愛らしく甘酸っぱいフランボワーズのケーキにしました。専用のティーカップとポットをご用意しましたので、カフェインレスコーヒーや母乳分泌に役立つハーブティーとご一緒にお召し上がりいただけます。

その他、お好きな時間に食べられるクッキー詰め合わせと院内の売店でご利用いただける出産から三ヶ月間有効のハーゲンダッツアイスクリーム引換券をご用意しております。


お好みのハーゲンダッツアイス
引換券
出産から3ヶ月間有効
Milk Up Blend
PRUNE YOGURT
1日分の鉄分
様
忙しい授乳の合間にひとときのティータイムを
母乳育児のママに優しい飲み物と
クッキーをどうぞお楽しみ下さい
霞ケ浦医療センター　栄養管理室

リニューアル前のデザートプレート



リニューアル後のデザートプレート

【糖尿病教室及び減塩教室のお知らせ】

各教室は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、

当面の間、お休みさせていただきます。